

# 鉄道ピクトリアル

2003年1月号 Vol.53 No.1 通巻No.726

<特集> 私鉄高性能車の半世紀

■表紙 50年を経て並ぶ東京急行5000系……………東急車輛製造(株)

2002-3 撮影:焼田 健(諸河 久 フォト・オフィス)

## ■カラー

特集:時代を拓いた電車たち (1~8ページ)

杵屋栄二・戸塚光弘・巴川享則・大沼一英・杉崎健一  
……………河原慶明・大里信之・長内 宏・館 利彦・岸 義則  
阪本 直・浜村正弘・和田京太・和田康之

Pictorial Color Gallery 秋晴れの空の下……………松本 誠… 89

[ JR 東日本仙石線用205系3100番代/JR 四国キハ185系「アン  
パンマン列車」/芝山鉄道開業/2002年ブルーリボン・ロー  
レル賞授賞式/B20 10復元/リバイバル列車運転ほか ] 92~96

## ■グラフ

- 高性能車黎明期を彩った私鉄の名車たち……………構成:編集部… 41
- 東京急行にみる高性能車の変遷……………構成:編集部… 46
- 日車東京支店製の地方私鉄向け“ロマンスカー”……………構成:編集部… 48
- 2002年10月12日京浜急行電鉄ダイヤ改正……………京急同趣会… 52
- トピック・フォト(各地・関東・中部・関西)…………… 97
- 2002.10.12京成電鉄ダイヤ改正……………坪井秋光・富田哲史…104
- 2002.10.5 JR西日本ダイヤ改正……………成瀬伸夫ほか…106
- 鉄道の日ダイジェスト……………館 利彦・増田晴一ほか…107
- 土佐電気鉄道 施設の話……………浜田 光男…108
- 九州ニュース……………中村弘之・原 敬一ほか…109
- 2002年“越中おわら風の盆”臨時列車の話……………杉下 浩生…110

## ■本文

- 今月の話題:私鉄高性能車の半世紀……………編 集 部… 9
- 私鉄高性能車は何をもたらしたのか……………曾根 悟… 10
- 私鉄高性能車における技術の変遷……………真鍋 裕司… 19
- 私鉄高性能電車出現の意義……………中川 浩一… 33
- 日本車両製の初期ロマンスカー……………日本車輛製造株式会社… 58
- 名古屋鉄道5000, 5200, 5500系の系譜……………外山 勝彦… 68
- 東武鉄道8000系ものがたり……………花上 嘉成… 74
- 阪急電鉄2300系のあゆみ……………篠原 丞… 80

\*

- 鉄道の話……………編 集 部… 57
- 書評(470)『交通まちづくりの時代』……………和久田康雄… 88

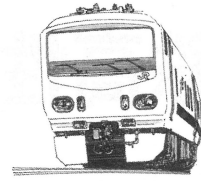
### 新年号スペシャル

新聞広告にみる鉄道史の興味……………中川 浩一…113

- アムトラックをめぐる最近の状況……………川尻 亜紀…121
- 江ノ電100年に寄せて……………野口 雅章…127
- 新連載 パーツ別線路観察学[1]……………石本 祐吉…133
- サンフランシスコの路面ケーブルカー……………横山 真吾…136
- 『夢の超特急~0系新幹線誕生と700系製造の記録』……………海老原浩一…139
- 鉄道ピクトリアル2002年主要総目次……………140
- 10月のメモ帳……………142
- 読者短信・情報ファイル……………143
- 後部車から……………147

ISSN0040-4047

Tetsudō pikutoriaru



カット:山本茂樹

今月の話題

## 私鉄高性能車の半世紀

大都市圏の通勤・通学輸送を担う大手民鉄では、今や旧式の象徴ともなった鈎掛電車は姿を消しつつあり、優れた走行性能を有する長編成の高速電車が活躍している。その意味では大手民鉄はもとより、近代化が急速に進む中小民鉄に至るまで、そしてJR各社においても、現在の電車はほぼすべて高性能車と位置づけることができる。こうした高性能電車が誕生して半世紀が経過する。

1950年代、戦後の復興から高度経済成長期へと移り変わる社会情勢の中で、都市交通の中核として重要な役割を果たす都市の私鉄では質と量の両面から多岐にわたる改善が迫られていた。電車技術の近代化はそうしたさまざまな改善を進めるうえで大きな要件であり、車両メーカーや私鉄各社では競って新技術の開発に取り組んでいた。具体的には車体重量の軽量化、高加減速の確保、ばね下重量の減少などをはじめとした技術改良が進められ、種々の試作、試験を繰り返した結果、かつてない新しいシステムの電車が開発されたのである。本格的な量産車の最初が1953(昭和28)年の営団地下鉄丸ノ内線300形であることは、すでによく知られている。

こうして、電車技術は私鉄高性能車の時代へと入り、私鉄各社で多様な新形車がデビューするとともに、折々に進化を遂げつつ半世紀を迎えることとなる。鉄道システムは私鉄と国鉄で何かと比較されることが多かったが、私鉄高性能電車の時代以降、電車技術については、常に私鉄高性能電車を源流として、鉄道界を私鉄がリードして今日に至った感が強い。その一方で、今またその流れは変革期を迎えているようでもあり、高性能車半世紀の技術の足跡を振り返る意義は大きいと思われる。

TETSUDŌTOSHO KANKŌKAI  
New Kokusai Bldg., Marunouchi  
3-4-1 Chiyodaku, Tokyo/Japan